

# つとえ! にぎわえ!

## 竹原どまんなか

### 第2次行動プラン



- ①~⑧ 1 指定避難所
  - ⑨~⑯ 2 一時避難場所
  - ⑰~⑱ 地域独自
- ※ 詳細は裏面に

※災害時には、避難所の開設の有無を竹原市役所 危機管理課へ確認してください。

竹原第4地区協働のまちづくりネットワーク  
令和元年7月発行

## はじめに

私たち、竹原第4地区協働のまちづくりネットワークは、竹原第4地区内で活動している自治会（榎町・新町・北堀・本川・扇町）・竹原第4地区社会福祉協議会・老人クラブ（榎若会、新寿会、中央完寿会）子ども会（青空、新開青空、希望、北堀、本川、ひまわり、さくら）民生委員・児童委員・竹原小学校第4分団PTA・竹原中学校第3支部PTA・竹原駅前商店街振興組合・竹原市消防団第2分団・竹原中央公民館・榎町親和会の体制で「安心安全部会・にぎわい部会」の構成で平成26年4月に発足させました。

このまちづくりネットワークは「地域に、子どもから高齢者までが安心して暮らし、地域の“絆”を深めるまちづくり」目指して、安心安全部会とにぎわい部会の二部体制とし、安心安全部会は「子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくり」を、また、にぎわい部会は「昔のように、にぎわいのあるまちづくり」を目指して、各種団体の得意分野を活かしながらお互いの連携・助け合う横のネットワークです。

## 第2次地域行動プラン策定にむけて

この度、この5年間を振り返り、次の5年間（令和元年度～令和5年度）の活動も「つどえ！にぎわえ！」をキャッチフレーズに掲げ「安心安全部会」と「にぎわい部会」の二部体制で活動を進め「第2次行動プラン」として冊子をまとめました。

第1次行動プランの5年間の成果と反省を生かし、次の5年間の活動を充実させていきたいと考えております。活動に際しては、回覧等で皆さんにご案内しますので、多数の皆さんの参加を得て地域の安心安全とにぎわい交流を進めたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

竹原第4地区協働のまちづくりネットワーク  
会長 尾野 剛章

## つどえ！にぎわえ！竹原どまんなか

### 安心安全部会

- 安心安全マップの作成
- 避難訓練
- 美化運動
- その他、安心安全に関すること

### にぎわい部会

- 空き家、空き店舗の活用
- サロンの設置
- 商店街の元気アップ
- その他、にぎわいに関すること

## 竹原第4地区地域別人口・高齢化率



## 安心・安全部会

### ねらい

1. 地域住民が安心して暮らせる防災・防犯に強いまちをめざします。
2. 環境美化活動を通じて、地域の美しい環境を守ります。



扇町年末防犯パトロール

### 事業計画

区分	事業内容	目標年度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
防災	安心・安全マップの作成			○		○
	安心・安全マップを活用した避難訓練	○	○	○	○	○
防犯	青色回転灯パトロール・歳末防犯パトロール・詐欺撲滅キャンペーン	○	○	○	○	○
環境	河川清掃	○	○	○	○	○
	美化活動	○	○	○	○	○
その他	安心安全に関すること	○	○	○	○	○

### 平成30年度 防犯パトロール



青色回転灯防犯パトロール



榎町年末防犯パトロール



新町年末防犯パトロール



本川年末防犯パトロール

## にぎわい部会

### ねらい

1. 住民同士や地域同士のふれあう機会を増やし、にぎわいを創ります。
2. 地域にある資源を生かし、交流を通じて情報発信に努める。



神明祭

### 事業計画

区分	事業内容	目標年度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
納涼祭	本川公園 子ども会・ひとり暮らしの老人を招待	○	○	○	○	○
納涼祭	榎町公園 子ども会・ひとり暮らしの老人を招待	○	○	○	○	○
神明祭	毎年2月	○	○	○	○	○
その他	他地区との交流・全自治会との親睦 芝生維持管理（本川公園・榎町公園）	○	○	○	○	○

西暦1500年頃の竹原湾と集落

西暦1650年頃の新開と慶安の古浜



室町時代 [1336年～ 1573年]  
 ※時の人物 毛利元就 (1516年～ 1571年)  
 織田信長 (1534年～ 1582年)

江戸時代 [1603年～ 1868年]  
 ※時の人物 徳川家康 (1542年～ 1616年) が征夷大将  
 軍となり江戸幕府を開く

## 竹原塩田の始まり

竹原は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、風光明媚・気候温暖な土地である。ここに芸備地方で最も早く入浜式塩田（入浜塩田）が築かれ、藩の財政に大きく貢献することになった。しかし新開は最初から塩田として築造されたのではない。

当初は全国的に行われていた新田開発の一環として、正保4年（1647）、新開に続く大新開として造成されたのである。時の竹原（賀茂郡）代官は鈴木四郎衛門重仍であった。

ところがこの土地では、潮気が強く耕作には不向きであったため活用されず、しばらく放置されていた。

この時、藩州赤穂から薪を買いに来ていた商人が、この荒れた土地を見て塩田にすることを勧めた。赤穂ではすでにこの時、入浜式塩田が行われていたのである。これを聞いた村役人はさっそく代官に進言し、塩田改築を試してみるようになった。この技術導入には広島藩と赤穂藩が本藩・支藩の関係があったもの幸いといえよう。

まず大石（港町）に地浜1軒を試作した。これが成功し良質の塩を得ることができたので慶安3年（1650）、大新開の沖口に31件の塩田を本格的に築造され、合わせて98軒と大幅に増加している。

このようにわずか数年で塩浜が大きく増加したのは、利潤の大きさを見て、地元だけに止まらず領内各地から商業的投資と藩の積極的な勧業施策による。

## 塩田作業の流れ

朝の3時ごろから作業開始、まず引手鋤で引手を行い、塩を撒く。午前中の仕事は8・9時ごろには終了し、午後2時ごろまで休憩、午後1時ごろから寄せ子が1時間から2時間程度で砂を集める。

午後の塩田作業の開始は塩業組合の人が旗を31番浜に揚げ、それを合図に開始した。旗は新浜にも1か所あった。旗が揚がる前に出ることは許されず、遅く出ることはできた。【この旗のことを赤穂では「特浜旗」と言い、多喜浜では「ボンデン（梵天）と言った。】

また、塩田に撒く砂は多喜浜や伊予西条から黒い砂を購入していた。黒い砂の方が日光を吸収し効率的だったが高つくので元の砂と混ぜて使った。

竹原塩田の位置 ～現在の市街と比較を通して～

竹原郷土文化研究会より



明治43年（1910）頃の塩田「竹原塩物語」



現在の竹原市街図（平成30年10月現在）



①大石に地浜一軒を試作



提供 芸南印刷株式会社

# 指定緊急避難場所一覧表

但し、表紙の地図内に限る



## 1 指定避難所

災害発生の危険性があり、避難した住民、災害により家に戻れなくなった住民等を避難、生活させる施設

(平成31年4月現在)

番号	名称	住所地	管理者	連絡先	想定収容人員	対応災害 ※				
						土砂	洪水	津波	高潮	地震
1	竹原西小学校体育館	竹原町2440	校長	22-0946	369	○			○	○
2	竹原西コミュニティセンター	竹原町2377-1	自治会長	22-8504	187	○	②	②	○	○
3	竹原小学校体育館	田ノ浦二丁目5-1	校長	22-2105	413		○	○	○	○
4	人権センター・中央児童館	中央五丁目5-17	地域づくり課	22-7736	300	○	②	②	○	○
5	竹原市民館	中央五丁目5-24	地域づくり課	22-7757	1,203	○	②	②	○	
6	竹原中学校体育館	下野町2230	校長	22-2045	569			○	○	○
7	道の駅たけはら	本町一丁目1-1	駅長	23-5100	50	○	②	②	②	○
8	竹原高等学校体育館	竹原町3444-1	校長	22-0745	不明	○			○	○

※ 対応災害の見方

- ・土砂：土砂災害警戒区域等の外にある施設
- ・洪水、津波、高潮：浸水想定区域の外にある施設
- ・地震：新耐震基準（昭和57年）以降に建てられた施設
- ・②：2階以上に限り安全な施設



## 2 避難場所

災害が発生し、又は発生のおそれがある場合に、一時的にその危険から逃げるための野外の場

(平成31年4月現在)

番号	名称	所在地	管理者	連絡先	対応災害 ※				指定避難所との重複
					土砂	洪水	津波	高潮	
9	竹原西小学校グランド	竹原町2440	校長	22-0946	○		× (0.4)	○	
10	竹原小学校グランド	田ノ浦二丁目5-2	校長	22-2105		○	○	○	○
11	新町公園（つばみ公園）	竹原町3522-2	都市整備課長	22-7749	○		× (1.9)	×	
12	竹原西幼稚園グランド	本町四丁目3-1	園長	22-2394	○		× (2.4)	×	
13	竹原中学校グランド	下野町2230	校長	22-2045			○	○	○
14	中央公園	竹原町3465	都市整備課長	22-7749	○		× (1.9)	×	
15	道の駅たけはら	本町一丁目1-1	駅長	23-5100	○		× (3.1)	×	○
16	竹原高等学校グランド	竹原町3444-1	校長	22-0745	○		× (2.2)	○	○
17	榎町公園（地域独自）	竹原町	都市整備課長	22-7749	○		× (2.5)	○	
18	本川公園（地域独自）	中央二丁目8	都市整備課長	22-7749	○		× (1.0)	○	

※ 対応災害の見方

- ・土砂：土砂災害警戒区域等の外のある場合
- ・洪水、津波、高潮：浸水想定区域の外にある施設
- ・×は、地震による地盤沈下等で堤防が機能しない場合 (m) 内は海拔

